

入選

大切な水

私はこの作文を書こうとしたとき、まず家族と水について話しました。すると、「最近では世界で水不足が問題になっている」と教えてもらいました。しかしそのとき私は、「地球には海がこんなにあるのに、どうして水不足になるのだろうか」と疑問に思いました。そして「海の水を使えばいいのではないか」と考え、インターネットで調べてみました。

調べてみると、地球にある水の約九十七・五パーセントは海水で、そのままで飲み水や農業には使えないことが分かりました。残りの二・五パーセントが淡水ですが、その多くは南極や北極の氷や地下水で私たちが普段使える川や湖の水はわずか〇・〇一パーセント以下しかありません。この数字を見たとき、私は想像していたよりもはるかに少ないことにおどろき水の貴重さを強く感じました。

さらに、世界には安全な水を十分に使えない人々が多くいることも知りました。地域によっては、何時間もかけて水をくみに行かなければならなかったり、きれいな水を使わず生活していたりするそうです。そのため、病気になってしまう人もいると知り、とても深刻な問題だと感じました。じや口をひねればすぐにきれいな水が出る生活をしている私は、自分がとても恵まれていることに気づきました。

次に、海水を飲み水に変える方法について調べました。すると、逆浸透法や蒸留法があることが分かりました。しかし、これらの方法は多くのエネルギーと費用が必要で、すべての地域で簡単に行えるわけではありません。また、エネルギーを使いすぎることや二酸化炭素が増え、地球温暖化など別の環境問題につながる可能性もあります。このことから、「水を作ればよい」という単純な解決ではなく、環境全体のことを考える必要があると感じました。

そこで、水を大切にするために私たちができることを考えました。

高岡市立牧野中学校 一年 渡邊 ひなの

まず、日常生活の中で水を無駄づかいしないことが大切だと思います。例えば、シャワーや歯みがきのときに水を出しっぱなしにしないことや、食器の汚れをあらかじめふき取ってから洗うことです。また、じや口の開き具合を調整し、短い時間で効率よく使うことも大切だと思います。さらに、水の再利用も重要です。お風呂の残り湯を洗たくや庭の水やりに使うことで、水の使用量を減らすことができます。その他にも、食べ残しを減らす、洗たくをまとめて行う、洗車はホースではなくバケツを使う、水を汚さないように気をつけるなど、さまざまな工夫ができると分かりました。

私はこれまで、歯みがきのときに水を止めることや、シャワーをこまめに止めることは意識して行ってきました。しかし今回の作文を通して自分がまだできていないことが多くあると気づきました。例えば、食べ残しをしてしまうことや、水を使うときに深く考えていなかったことです。これからは、一つ一つの行動を見直し、より意識して水を大切に使うていきたいと思っています。

また、自分だけでなく家族にも声をかけていきたいです。水を出しっぱなしにしているときには注意したり、一緒に節水について話し合ったりすることで、家族全体で水を大切にする意識が高まるのではないかと考えました。

今回の作文を通して、水は限りある資源であり、一滴一滴がとても貴重なものであると実感しました。今までは、当たり前のように使っていた水ですが、そのありがたさを改めて感じるようになりました。